

杏林大学
ルーズブリックガイド

回答のしかた 

チェック年月日	(西暦)	年	月	日
所属高等学校名				
氏名				



ルーブリック回答の流れ

以下の手順に従って回答していきましょう。

① ルーブリックを理解する



② 自分の高校時代を振り返り、力を入れた経験を思い出す



③ 自分の経験を評価シートの基準に合わせて自己評価 2つの経験について回答シートに記入



④ 言語能力について自己評価・回答シート記入



⑤ 経験・成果を裏付ける根拠資料を用意



ルーブリックってなに？ ～ルーブリックを理解する～



ルーブリックとは、皆さんがこれまでの経験の中で身に付けた能力のレベル、学習の到達度を数値化したものです。

皆さんは、「学力の3要素」という言葉を聞いたことがありますか？

学力の3要素

- ① 十分な知識・技能
- ② それらを基盤にして答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力などの能力
- ③ これらの基になる主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

知識・技能は、マークシート式の試験やテストでも測ることができますが、②の思考力・判断力・表現力は記述式でないとなかなか測ることができません。さらに、③の主体性・多様性・協働性は試験やテストでは測ることができません。

皆さん一人一人の進路に応じた多様な可能性を伸ばすためには、皆さんの幅広い資質・能力を多面的に評価し、育成していくため、学校内の活動での学習成果だけでなく、一人一人の目標や進路などに応じて自主的に行われる学習などについても、学びの成果として評価する必要があります。

杏林大学のルーブリックでは、多面的な能力として「主体性」「多様性」「協働性」「課題発見・解決力」と、英語や中国語など外国語の「語学力(話す・聞く・書く・読む)」の到達度がセルフチェックできるようになっています。



多面的な能力
について

多面的な能力を測るための基となる経験に関しては、4つの領域があります(4ページ「ルーブリックで扱う4つの領域について」を参照)。高校在学中に取り組んだ経験の中から2つを選択し、それぞれの経験について記入してください。なお、領域に関しては重複しても大丈夫です(例えば、A領域だけで2つ選ぶことも可能です)。

言語
について

言語に関しては、2言語までチェックできるようになっています。それぞれの能力は、レベル1～5の5段階で数値化され、段階を踏んで難易度が上がっていきます。数値化するレベルには、その根拠や指標が「ルーブリック評価シート」(8～11ページ)に記載されています。それをよく読み、自身に当てはまるレベルを選択し、別紙回答シートに数値を記入してください(6ページ「回答シート記入上の注意点」を参照)。そのレベルとした根拠や理由も記入することができます。

根拠資料

上記2つの経験で出した成果(結果や、制作物など)を示す根拠資料を準備・整理してください。(7ページ「自己評価を裏付ける根拠資料について」を参照)

ルブリックで取り扱う4つの領域

- ① 高校時代を振り返り、力を入れた経験を下記の4つの領域に照らし合わせます(語学は別です)。
- ② A～Dの4つの領域に当てはまる経験2つを、「ルブリック回答シート」に記入してください。

※1つの領域で複数の経験でも、2つ別々の領域を選んでも問題ありません。
※自分が選んだ経験がA～Dのどの領域に入るかを決める際には、下記の【例】を参考にしてください。

Point

選択する経験は、
学外の活動によるもの 学内の活動によるもの に分かります。

その次に
学校が指定しない自主的な経験 授業及び学校が行事として決めている経験
に分かれますので、よく整理して選びましょう。



学外		学内	
学校が 指定しない 自主的な経験	A 学校行事としての強制力がなく、 自発的に取り組んだ学外の経験 【例】 ●授業以外の自主的な学習 ●大学の講義・セミナーの聴講 ●資格・検定試験の取得 ●留学・海外研修 ●地域活動 ●ボランティア ●習い事 ●コンテスト、発表会への参加 など 	学校が 指定しない 自主的な経験	B 学校行事としての強制力がなく、 自発的に取り組んだ学内の経験 【例】 ●「探究的な学習」「課題研究」 ●部活動 ●委員会活動(学級委員) ●生徒会 ●応援団員 など 
	C 予め学校の年間スケジュールに 入っている全員が参加する学外行事 【例】 ●オリエンテーションキャンプ ●海外研修 ●修学旅行 ●実習 ●施設見学 など 		D 予め学校の年間スケジュールに 入っている全員が参加する学内行事 【例】 ●「総合的な学習の時間」 ●授業 ●授業以外の決められた学習 ●合唱コンクール ●体育祭 ●文化祭 ●球技大会 など 

回答シート記入例と注意点

ルブリック回答シート～多面的能力①～

経験のタイトル	野球部活動	経験の題名を自分で記入	カテゴリ	点数
領域	B	A～Dを記入	主体性	4
経験の期間	高校1年～3年生の夏まで	その経験を行った期間を記入	多様性	4
根拠資料	有		協働性	4
			課題発見・解決力	3
			合計スコア	15

経験の内容
1年生の時は先輩部員の練習環境を少しでも良くするために、気づかいを学びました。
また、用具の手入れなどは1年生の仕事でしたので、物を大切にするという生活習慣を身に付けました。
2年生の時に試合に出させてもらうことで、チームプレイの難しさや大切さを学びました。3年生の時はキャプテンに選ばれ、部員とのコミュニケーションの取り方、リーダーシップについて学びました。また、目標であった県大会ベスト16も実現することができました。

Point

検定や資格以外で、実践的に外国語をどのように活用したか、又は学習したか

Point

経験の詳細(目標、行動、取り組む中での困難とその乗り越え方、結果や自己成長)について具体的に記入

Point

※学んでいる言語が複数ある場合には最も力を入れたものを①に、次に力を入れたものを②に記入(母国語は除く)

ルブリック回答シート～言語①～

言語	英語	現在学んでいる言語を記入	カテゴリ	点数
検定・資格(点数)	英検2級	所持している検定や資格、点数があれば記入	話す【対話力】	3
根拠資料	有		話す【プレゼン力】	3
			聞く	4
			書く	4
			読む	4
			合計スコア	18

この言語に関する実践的な経験や力を入れた学習
高校2年生の夏休みに1ヶ月間、アメリカのバークレイズ高校に短期留学をしました。学校の授業で英語を活用したのはもちろん、アメリカ人の友人と英語で会話し、現地のアメリカ人家庭にホームステイをしたので、ホストファミリーと積極的に英語でコミュニケーションしました。

自己評価を裏付ける根拠資料について

選択した経験の自己評価、言語能力を裏付ける証拠書類を準備してください。
根拠資料の現物を持参することが困難な場合は、写真に撮ったものを印刷・現像してください。
写真や新聞の切り抜きなどは、A4用紙に貼付しても構いません。

添付する根拠資料の例	
部活動などの場合	●大会名、試合名、出願者本人の出場記録、成績・順位がわかるもの (開催要項、スコアブック、大会結果、新聞・雑誌記事、賞状など)
総合的な学習 探究的な学習 課題研究などの場合	●論文・レポートや作文、ポスターなどの製作物 ●学習の記録や作品などを計画的に集積したポートフォリオ ●報告会やプレゼンテーションの様子を撮影した写真・ビデオや配布資料
海外研修などの場合	●新聞、レポート、パンフレット、ポスターなどの製作物 ●報告会やプレゼンテーションの様子を撮影した写真や配布資料 ●研修の参加・修了を証する証明書・修了証
委員会などの場合	●委員会名、任期、出願者本人の役職などがわかるもの ●新聞、ポスター、活動報告書などの製作物
地域活動や ボランティアの場合	●主催者の作る活動についての資料 ●仲間から書いてもらった評価 ●活動している写真など
習い事などの場合	●習い事の先生の氏名や教室の名前・場所 ●段位・級位などを示す賞状・証明書 ●コンクールの賞状、作品などの成果物
行事や研修などの場合	●行事や研修のしおりやパンフレットや写真など ●行事や研修について自分で作った報告書、感想文など
言語能力の場合	●各種の英語資格・検定試験(英検、GTEC CBT、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC/TOEIC S&W)の合格通知、合格証書、合格証明書、またはスコアレポート ●各種の中国語資格・検定試験(中国語検定試験、HSK)の合格通知、合格証書、または合格証明書 ●他の外国語の語学力を示す証明書

ルーブリック評価シート 多面的能力指標

主体性	1	指示されたことは、指導者・責任者の指導の下で期限までにやりきる。	●指導の下でやりきる力
	2	指示されたことは、指導者・責任者がいなくても期限までに最低限やりきる。	●指導なしでもやりきる力
	3	指示されたことが、特にやりたいことではなかったとしてもやるからには十分高い意識を持ってやりきる。	●高い意識でやりきる力
	4	自分が意識を高めて情報を取捨選択できる判断力を持ち、その判断に責任を持って率先して行動する。	●判断力 ●率先して行動
	5	自分が意識を高めて情報を取捨選択できる判断力を持ち、その判断に責任を持って率先して行動する。また、その行動は第三者から見ても創意工夫があると評価される。	●判断力 ●率先して行動 ●創意工夫 ●模範として評価

多様性	1	自分の意図に関係なく、所属するクラスやチームのメンバーに誰がいるのかがわかる。考えの違う相手に対して、仮に感情的になったとしても、自分をコントロールすることができる。	●自己感情コントロール力
	2	自分の意図に関係なく、所属するクラスやチームのメンバーに誰がいるのかがわかり、そのメンバーがどのような人物なのかを理解できる。しかし、理解はできるが相手を認めるまでにはいたらない。考えの違う相手に対して、仮に感情的になったとしても、反抗的な言動を取らずに自分の考えを伝えることができる。	●自分の考えを伝える力
	3	自分の意図に関係なく、所属するクラスやチームのメンバーがどのような価値観を持った人物なのかを理解できる。まだ相手を認めるまでにはいたらないが、相手に合った接し方はできる。考えの違う相手に対しても、感情的にならずに、自分の考えを冷静に伝えられる。	●相手に合わせられる ●感情的にならない ●冷静に伝えられる
	4	自分の意図に関係なく、所属するクラスやチームのメンバーがどのような価値観を持った人物なのかを理解でき、相手の価値観を尊重し、相手を認めた接し方ができる。考えの違う相手に対して、相手の考える根拠を聞き出すことで解釈の幅を広げることができる。その上で自分の考えを冷静に伝えられる。	●相手を尊重できる ●相手の考えを聞き出せる ●解釈の幅を広げられる ●冷静に伝えられる
	5	レベル4を前提に、自分が所属するクラスやチームのメンバー同士で対立意見が出た場合、目的を確認して意思決定ができ、かつ決定した考えと違う側へ配慮することでメンバー同士のさらなる結束を図ることができる。考えの違う相手であっても、背景や根拠を自分が感じ取り、それを確認できる。その上で自分の考えを冷静に伝え、敬意を持って納得するまで生産性のある議論が続けられる。	●意思決定ができる ●結束を固められる ●相手の考えの根拠を感じ取れる ●冷静に伝えられる ●敬意を持って議論が続けられる

協働性	1	自分が所属するクラスやチームなどの目標を理解し、仲間に対しては波風を立てないような姿勢で取り組むことができる。	●目標を理解 ●波風を立てない姿勢
	2	自分が所属するクラスやチームなどの目標を理解し、仲間から与えられた役割を全うするように取り組むことができる。	●目標を理解 ●役割を全うする
	3	自分が所属するクラスやチームなどの目標に向かって、やるべきことを理解した上で積極的に協力できる。かつ、そのプロセスで、仲間を認め合いながら取り組むことができる。	●やるべきことを理解 ●積極的に協力 ●仲間と認め合える
	4	自分が所属するクラスやチームなどの目標に向かって、役割に責任を持って貢献できる。かつ、そのプロセスで、仲の良し悪しに関わらず価値観の違いを受け入れ目標に向かうことができる。	●責任を持って貢献 ●価値観の違いを受け入れられる
	5	自分が所属するクラスやチームなどの目標に向かって、役割に責任を持って貢献できる。かつ、そのプロセスで、様々な生活環境、年齢、国籍や文化で過ごしている他者の価値観を受け入れて目標に向かうことができる。	●責任を持って貢献 ●環境の異なる他者の価値観を受け入れられる

課題発見・解決力	1	課題をとらえることができる。うながされれば解決に向かう行動を取れる。	●課題をとらえる ●解決に向かう
	2	積極的に課題に立ち向かい、情熱を持って解決しようと行動できる。しかし、その課題を解決すれば新たな課題が生まれる傾向にある。	●課題に立ち向かう ●情熱を持って行動
	3	自ら起こっている現状を見極め、本質的な課題をとらえ問題解決ができる。しかし、その課題のとらえ方は、まだ不十分な場合もある。	●本質的な課題をとらえる ●問題解決ができる
	4	自ら起こっている現状を冷静に見極め、本質的な課題をとらえることができる。なぜその課題が出たのか、どうすれば解決できるのかを掘り下げること、具体的な解決策を導き出し、解決する行動を起こせる。	●冷静な見極め ●本質的な課題をとらえる ●課題掘り下げ力 ●具体的な解決策
	5	自ら起こっている現状を冷静に見極め、本質的な課題をとらえることができる。なぜその課題が出たのか、どうすれば解決できるのかを掘り下げること、具体的な解決策を導き出し、解決する行動を起こせる。かつ、この状況を的確にメンバーに伝え共有することで一人では出せない価値の創出ができる。	●冷静な見極め ●本質的な課題をとらえる ●課題掘り下げ力 ●具体的な解決策 ●メンバーと共有 ●新たな価値創出

ルーズブリック評価シート 言語能力指標

対話力	1	ごく簡単な単語を用いて自分の気持ちなどを伝えられる。ただし、正しい文章にすることはできない。	●簡単な単語 ●気持ちを伝える	実用英語検定 5級 レベル相当	中国語検定 準4級 レベル相当
	2	相手にゆっくり話してもらい手助けを借りながらであれば、自分の気持ちを伝える程度の簡単なやりとりができる。	●気持ちを伝える ●簡単なやりとり	4～3級 レベル相当	4級 レベル相当
	3	自分や家族のことなどの身近な話題であれば、単語や短い文章でゆっくりやりとりできる。	●身近な話題の短い文章でのやりとり	準2級 レベル相当	3級 レベル相当
	4	その言語が話されている地域への旅行中に起こるようなことに対し、大体は適切に対処できる。興味があることや身近な話題であれば、会話に加われる。	●旅行中の対処 ●身近な話題の会話	2級 レベル相当	2級 レベル相当
	5	ネイティブスピーカーが相手であっても、ある程度流暢かつ自然なコミュニケーションを図れる。なじみの深い話題であれば、自分の意見を交えながら、積極的に会話に加われる。	●ネイティブ相手に自然なコミュニケーション ●積極的な会話	準1級 レベル相当	準1級 レベル相当

プレゼンテーション能力	1	挨拶など一言程度であれば話ができる。	●挨拶レベル	5級 レベル相当	準4級 レベル相当
	2	自己紹介など定型的内容であれば話ができる。	●自己紹介レベル	4～3級 レベル相当	4級 レベル相当
	3	身近な話題について、短い文章で話ができる。	●身近な話題の簡単な説明	準2級 レベル相当	3級 レベル相当
	4	自分の経験、夢、希望などの身近な話題について、ごく簡単な表現で文章をつなぎながら説明できる。自分の意見に対し簡単な表現で理由付けや補足説明を行える。	●文章をつないで説明 ●自分の意見を説明	2級 レベル相当	2級 レベル相当
	5	自分が興味・関心のある話題であれば、明確、かつ詳細に説明できる。意見の分かれる時事問題について、利点や欠点を挙げながら自分の見解を説明できる。	●明確・詳細に説明 ●見解を説明	準1級 レベル相当	準1級 レベル相当

聞く	1	ゆっくりはっきりと発音されるごく簡単な単語程度であれば理解できる。	●簡単な単語を理解	実用英語検定 5級 レベル相当	中国語検定 準4級 レベル相当
	2	日常の挨拶など、習慣的に使う言葉はわかる。ゆっくり、はっきり発音されれば、短い文章程度は理解できる。	●習慣的表現を理解 ●短い文章を理解	4～3級 レベル相当	4級 レベル相当
	3	自分や家族のことなど身近な話題に関する簡単な表現であれば理解できる。短く単純な内容であれば要点をとらえることができる。	●簡単な表現理解 ●要点をとらえる	準2級 レベル相当	3級 レベル相当
	4	日常生活の中で頻繁に耳にする簡単な言い回しであれば、要点を理解できる。興味がある話題であれば、ラジオやテレビ番組の要点を理解できる。ただし、比較的ゆっくり、明瞭に発声されるものに限る。	●要点を理解 ●ラジオ・テレビ番組を理解	2級 レベル相当	2級 レベル相当
	5	なじみの深い分野であれば、スピーチや講義の大部分を理解し、複雑な話の筋道を把握できる。ニュース番組の大部分を聞き取ることができる。くせのない発音であれば映画のストーリーを大体理解できる。	●スピーチ・講義を理解 ●ニュース番組聞き取り ●映画を理解	準1級 レベル相当	準1級 レベル相当

書く	1	ごく簡単な単語程度なら書ける。	●簡単な単語を書く	5級 レベル相当	準4級 レベル相当
	2	住所や挨拶などの慣用句、必要事項に挙げられる個人情報などの定型文であれば書ける。	●慣用句・定型文を書く	4～3級 レベル相当	4級 レベル相当
	3	自分の気持ちを、単純で短い文章で書ける。	●自分の気持ちを書く	準2級 レベル相当	3級 レベル相当
	4	興味のあることやなじみの深い話題であれば、単純なつながり合わせの文章を書ける。事実や感想を手紙に書ける。	●つながり合わせの文章 ●事実・感想を書く	2級 レベル相当	2級 レベル相当
	5	興味のあることであれば、明確かつ詳細な文章を書ける。特定の立場に立ち、情報を伝えたり根拠を示すレポートを書ける。事実の描写だけでなく、伝えたい点を強調しながら手紙を書ける。	●明確・詳細な文章 ●レポートを書く ●伝えたい点を強調	準1級 レベル相当	準1級 レベル相当

読む	1	ごく簡単な単語程度なら読んで理解できる。	●簡単な単語を読む	5級 レベル相当	準4級 レベル相当
	2	挨拶などの慣用句や駅を表示などの定型文であれば読んで理解できる。	●慣用句・定型文を読む	4～3級 レベル相当	4級 レベル相当
	3	単純で短い文章を理解できる。日常生活の中で頻繁に目にする広告やメニューなどの定型的な表現を読んで理解できる。	●短い文章を理解 ●定型的な表現を理解	準2級 レベル相当	3級 レベル相当
	4	日常的な文章であれば読んで理解できる。個人的な手紙の内容や書き手の心情を理解できる。	●日常的文章を理解 ●心情を理解	2級 レベル相当	2級 レベル相当
	5	時事問題に関する記事やレポートを読み、書き手の意見を理解することができる。小説などを読んで理解できる。	●意見を理解 ●小説などを理解	準1級 レベル相当	準1級 レベル相当